

平成28年

第19回教育委員会会議 議事録

秋田県教育委員会

平成28年第19回教育委員会会議 議事録

1 期 日 平成28年12月15日 木曜日

2 場 所 教育委員室

3 開 会 午後2時00分

4 閉 会 午後4時00分

5 出席者 教育長 米田 進

委 員 岩佐 信宏

伊藤佐知子

猿田五知夫

大塚和歌子

伊勢 昌弘

6 説明のための出席者

教育次長 佐藤雅彦

総務課長 太田政和

教職員給与課長 碓屋裕一

義務教育課長 佐藤昭洋

生涯学習課長 沢屋隆世

保健体育課長 木浪恒二

教育次長 鎌田 信

施設整備室長 山崎 均

幼保推進課長 小柳公成

特別支援教育課長 小林 司

文化財保護室長 近江谷正幸

福利課 田久保清治

7 会議に附した議案

報告第 8号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見についての専決
処分報告について

議案第49号 教職員の懲戒処分について

議案第50号 教職員の懲戒処分について

8 承認した事項

報告第 8号 議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見についての専決
処分報告について

9 議決した事項

議案第49号 教職員の懲戒処分について

議案第50号 教職員の懲戒処分について

10 報告事項

・平成29年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について

- ・ユネスコ無形文化遺産登録について
- ・平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

11 会議の要旨

【米田教育長】

ただいまから、平成28年第19回教育委員会会議を開催いたします。
本日の議事録署名員は、3番猿田委員と4番大塚委員にお願いします。

【米田教育長】

審議に入る前に、議事の進行についてですが、議案第49号及び議案第50号の「教職員の懲戒処分について」は、その他全ての案件終了後に行うこととしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【米田教育長】

はじめに、報告第8号「議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見についての専決処分報告について」、総務課長から説明をお願いします。

【総務課長】

報告第8号「議会の議決を経るべき教育関係議案に対する意見についての専決処分報告について」説明

【米田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【岩佐委員】

学校・家庭・地域連携総合推進事業について、放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体運営の整備に助成するもので今回は6施設分となっていますが、対象となる子ども教室、児童クラブはどのくらいありますか、また、一体運営に係る備品とは具体的にどういったものか教えていただきたい。

もう一点、勤勉手当の性質について教えていただきたい。

【生涯学習課長】

放課後子ども教室の実施状況については、中核市で補助対象外となっている秋田市を除き、17市町村で74教室が実施されております。このうち放課後児童クラブと一体に運営をしているのは15教室ございます。事業対象については、これまでも放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体運営を行ってきた4箇所他に、来年度から新たに八峰町と井川町が加わり、全県で6

か所となっております。

【米田教育長】

具体的に備品はどういったものがありますか。

【生涯学習課長】

間仕切りを行うパーティション、エアコンの設置やICT機器の導入などがあります。また、音楽を流してリズム体操を行うための音楽機器を購入したいなど、それぞれの市町村が工夫をして現状に応じた計画をあげてきております。

【米田教育長】

次に勤勉手当について、碓屋教職員給与課長お願いします。

【職員給与課長】

12月に支給される勤勉手当を例に御説明いたします。この場合、1つは6月から11月までの6か月間に採用されていれば100分の100を、途中採用の場合はその採用の期間に応じた期間率を掛けます。もう1つの観点として、病気休暇などを除く出勤日数の成績率を掛けまして0.825を上限として支給されるものです。

【岩佐委員】

能力評価などの査定的なものではなく、皆勤賞のようなものと捉えてよろしいですか。

【教職員給与課長】

課長職以上については、能力評価が成績率の中に加味されますが、課長未満の職については今のところ反映されておられません。

【猿田委員】

給料表で1級から4級までありますが級と職務の関係と、号給が多くありますがどういうタイミングで昇給や見直しがされるのか教えていただきたい。

【米田教育長】

資料の10ページを基に説明をお願いします。

【教職員給与課長】

1級は主に臨時講師、2級は教諭で採用された場合、3級が教頭、4級が校長と大まかに御理解いただけたらと思います。基本的には、先ほど御説明いたしました成績率や期間率を加味して年間で4号ずつ上がってまいります。昇給が1月1日で、例えば1級1号の方は4号上がるので1級5号になります。順調に職務を遂行されれば1年間で4号ずつ上がっていくことになっております。ただし、56歳になりますと昇給は原則ないことになっております。

【猿田委員】

順調でない方もいるということは、能力評価が反映されるという意味ですか。

【教職員給与課長】

校長等については能力評価もありますが、一般の教諭等については能力評価は反映されておりません。例えば、病気休暇でどれだけ休んだかなどが加味されるということです。

【猿田委員】

ほとんどの先生方は4号ずつ上がっていくということですか。

【教職員給与課長】

はい。

【米田教育長】

号給が細かく刻まれて設定されているのは、個々のケースに対応するためのものですか。

【教職員給与課長】

それもありますが、採用の際に前歴があるなど必ずしも1級1号からスタートするものではありませんので、様々な要素に対応するためにこの様な設定になっております。

【猿田委員】

扶養手当の改定について、配偶者に係る手当が減額になったということですか。

【米田教育長】

資料の33ページ2(2)①で現行13,000円が6,500円と半分になっていますね。

【教職員給与課長】

これにつきましては、確かに配偶者の扶養手当は13,000円が6,500円となってございます。また、子の扶養手当は6,500円が10,000円に上がっております。扶養手当総額を県全体でみた場合には、この改定を行った場合は県の支出額が増える見込みとなっております。人事院勧告に基づいておりますので、国、他の都道府県と均衡は取れております。

【猿田委員】

扶養手当の単価の部分だけで見ると減っていますが、県全体の支出額が増えているということは、子どもに係る扶養手当が増えるということですか。

【教職員給与課長】

そのとおりでございます。

【米田教育長】

債務負担行為について説明していただけますか。

【生涯学習課長】

今回計上しているのは5年契約の指定管理に係る経費でありまして、あらかじめその限度額を設定するものであります。

【米田教育長】

特になければ、承認してよろしいでしょうか。

【全委員】

異議なし。

【米田教育長】

それでは、報告第8号を承認します。

次に、報告事項の一つめの「平成29年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について」、鎌田教育次長から説明をお願いします。

【鎌田教育次長】

報告事項「平成29年3月高等学校卒業予定者の就職内定状況について」説明

【米田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【米田教育長】

県内の求人を見ると、業種によって若干違いがあるように思えますが、今段階において良い状況にあるのですか。

【鎌田教育次長】

労働局発表の10月末のものをみますと、県内の有効求人倍率が2.3倍となっており前年度比で0.09ポイント高い状況にあります。業種別についても全体的に求人数が増えているのですが、建設業については求人はあるのですが、それに対して行く生徒が少ない状況で充足率が20パーセントに満たない状況でありまして、業種によって生徒が欲しいがなかなか入ってこない状況ですが、学校サイドからすると割合的にいろいろな業種に行っています。生徒が減っている要因と建設業など今まで募集がなかったところから急にきても対応できない状況があるのかなと思います。

【米田教育長】

猿田委員はいろいろな業種の方とお話する機会があると思いますが、高卒者の就職について全体的には良い感じできているというものの、企業側から見て何か実感することはありますか。

【猿田委員】

全体的な人手不足はずっと変わらないと思います。業種によって内定の出し方や求人の数など差があり、相当の偏りが今年に限らず続いている感じです。大手企業が内定を早く出して囲い込んでいたり、県内では3次内示まで出している状況です。

【大塚委員】

11月末の内定状況ということですが、これから3月の卒業までにもっと数値は上がっていくのか、それともここまででほぼ今年は決まってしまう状況なのですか。

【鎌田教育次長】

例年であればもう少し上がって97～8パーセントまでは内定率が上がっていく状況にありますが、最後にどうしても何人かは決まらないという生徒もいることも確かでございます。そういった生徒に対しては、卒業後も連絡を取りあって就職の案内をしたり、情報提供をしている状況です。

【大塚委員】

私は歯科衛生士学校の講師をしているのですが、卒業者は約40人くらいに対し県内の歯科医院からかなりの数の求人があるほか、県外からも約240人の募集があり、生徒が就職先を選ぶ状況にあります。県内に残らず給料の高い東京や県外へ就職する人もいます。県内の歯科医院では募集を出したが1人も来ないというところもあり、歯科衛生士の確保は厳しい状況にあります。そういったことから業種によってかなり偏りがあると感じています。

【米田教育長】

歯科衛生士関係は、かなり県内に就職していると認識しているのですが、現状はどうですか。

【大塚委員】

ほとんどは県内に残っています。募集する歯科医院のほうが多くて生徒を確保するのが大変な状況です。

【猿田委員】

卒業者が約7,500人で就職を希望する人が約2,000人となっており、その差が進学を希望するという事ですよね。高校を卒業すると教育委員会から手が離れて進路等について状況がつかめないと思いますが、秋田に帰って来る、若しくは県内に就職するように今県でいろいろ施策していますが、その約5,000人の行き先についてのデータ等を教育庁若しくは知事部局などで持っていたりしますか。

【鎌田教育次長】

それは高校卒ですか、それとも大学卒についてですか。

【猿田委員】

大学や専門学校卒についてです。進学希望者の約5,000人が、3～5年後にどういった進路をとっているのかということデータを分かつているのですか。

【鎌田教育次長】

教育委員会ではそこまで把握してごさいません。ただ、どこの大学に行ったのかは把握しておりますので、正確なデータではありませんが、県産業労働部と連携して、そこにはがきを出して就職時にどういった所を希望したのか、又はどこに就職したのかのデータをとって集計しているところでもあります。その際に、秋田の企業状況を併せて提供するなど、秋田に戻ってきていただく策はとっております。

【米田教育長】

なかなか詳しく全部状況を把握することは極めて難しいと思います。

【猿田委員】

我が社においても内定を出したのですが、奨学金に県で助成する制度があることを知っていませんかと聞いたら、知らなかった。PRはこれからだと思つてのですが、進学希望者の進路について県教育委員会で把握するのも困難だと思いますし、我々企業側も面接の際は説明などをしますが、その把握は難しいですよね。

【米田教育長】

産業労働部等ともタイアップして、できるだけ把握しなければならないと思つております。

この数値は常に動いてるものなので、この次の教育委員会会議においては、また新たなデータを提供できると思つておりますので、そのときに、またいろいろなアドバイスをいただけたらと思つてます。

【米田教育長】

次に、報告事項の二つめの「ユネスコ無形文化遺産登録について」、文化財保護室長から説明をお願いします。

【文化財保護室長】

報告事項「ユネスコ無形文化遺産登録について」説明

【米田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ごさいませんか。

【大塚委員】

質問ではないのですが、12月1日の朝のニュースで登録の瞬間を見ました。テレビ等で取り上げられ行事自体が多のみなさんの目に触れることで、行ってみたいなという気持ちになりますし、長年携わってきた方々の喜びも大きく、経済の発展などに繋がるのではと思つてました。ま

た、こういった輪が広がることでいろいろな人の喜びややる気に繋がるのではと思いました。

【米田教育長】

文化財保護室の職員も夜中まで待っていたと聞きました。
最終的にお知らせが来たのは何時頃ですか。

【文化財保護室長】

決まったのが真夜中の2時1分頃です。

【米田教育長】

登録されたから終わりではなく、これからスタートということでいろいろな観点から支えていくことが必要になろうかと思っております。

【米田教育長】

次に、報告事項の三つめの「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について」、保健体育課長から説明をお願いします。

【保健体育課長】

報告事項「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について」説明

【米田教育長】

ただいまの説明について、質疑等ございませんか。

【大塚委員】

秋田県の結果が良いということで良かったと思います。中二女子の「1週間の総合運動時間が60分未満の割合」が全国平均値より高いとありましたが、うちの娘は中二で水泳をやっている、ほぼ毎日6～7千メートル2時間泳ぎっぱなしの生活をずっと続けています。そうしたことから、運動している人とそうでない人との差がある二極化を実感しました。

東日本大震災の後、岩手県岩泉町の子どもたちの肥満率が全国の3倍であるという報道がありました。何故かという、被災地のため学校が変わって登下校全てがバスや親の車による送り迎えになっていて運動不足によるものです。子供のころからの肥満を見過ごしていくと、罹患している人とその予備軍あわせて2,200万人もいる糖尿病になる可能性もあり、将来的に医療費の増大や、他の疾病の増大に繋がってしまうと思います。今回の秋田県の子供達の結果は良かったなと思いました。

【保健体育課長】

二極化につきましては、部活をやっている子どもは多くいるのですが、その反面運動をしないという子どもがいるのも事実であります。秋田県においても運動をしない子が若干おまして、改善傾向にはありますが課題となっており、今後改善策をとっていく必要があると思っております。

【伊藤委員】

T得点とは偏差値のようなものですか。

【保健体育課長】

そのとおりです。

【伊藤委員】

男子と女子の得意とする部分が思っていたのと違って、成長期を過ごすことで得意とする部分が変わっていくのかとびっくりしました。例えば、女子であれば20mシャトルランが小学校5年では強かったのが、中学校になると長座体前屈などが強くなっている。成長の関係もあると思いますが、同じ県の中の子どもでも思っている以上に変化があるのは何か理由はあるのでしょうか。

【保健体育課長】

小学校と中学校の違いについては、やはり発達の段階によって得意とするものと不得意とするものがあります。小学校の時は得意であったものが成長によって数値が下がるということもありますので、この様な結果になったと思っております。

【伊藤委員】

私も最初そう思ったのですが、追跡調査ではないけど全国的な平均値であることから、もしかしたら小学校で鍛えているものと中学校で鍛えているものの種類が違うのかなと感じました。今後そういった調査等があれば教えていただきたいと思いました。

【米田教育長】

小学校5年生と中学校2年生の違いが、毎年同じように見られるのか比較してみると傾向が分かると思います。

【猿田委員】

この調査の結果は、学校や子どもたちに知らせるのですか。

【保健体育課長】

自校のデータは各学校で持っていますし、各県の平均値等はスポーツ庁のホームページに掲載されております。

【猿田委員】

子どもたちは、自分やクラスメートが全国平均に比べてどのくらいであるのかということは分かっているのですか。

【保健体育課長】

各学校の授業において、調査結果を示すなど今後の励みとなるように県では指導しております。

【米田教育長】

調査の目的がいろいろありまして、国では全国の傾向をつかんで国の施策にどう反映させるか考える。また、都道府県では自県の傾向をつかんでどう対応するか考えるし、学校は学校で対応を考えるとこのように、全部絡んでいるということでもあります。

【米田教育長】

他に何か御質問等はありませんか。

ないようですので、この後の議案第49号と議案第50号は人事案件のため秘密会にしたいと思いましたがいかがですか。

【全委員】

異議なし。

【米田教育長】

異議がないので、秋田県教育委員会会議規則第26条により秘密会とします。

傍聴の方には大変恐れ入りますが、御退席をお願いいたします。

※秘密会のまま終了